

突然死・突然死予備群対策事業の概要図

事業目的

心筋梗塞、脳卒中等による突然死および突然倒れて入院する加入者の撲滅

実施概要

本事業は事業主親会社の被保険者を対象とし、顧問医による面談を実施して適切な疾病管理ができるよう受診勧奨を行います

1. 対象者の抽出

検査値を元にした下記の判定基準に基づいて、突然死または突然倒れるリスクのある加入者(ブラックゾーン対象者)を抽出

検査項目		基準	検査項目		基準
血圧	収縮期	180以上	糖代謝	HbA1c	10.0以上
	拡張期	120以上	脂質代謝	中性脂肪	1,000以上
腎機能	e-GFR	45未満	リスクスコア 発症確率(*)	心筋梗塞	10%以上
	尿蛋白	+++ 以上		脳卒中	20%以上

2. 顧問医による受診勧奨面談

未受診またはコントロール不良の対象者に対して、検査値、通院状況等を踏まえて個別に保健指導および受診勧奨を実施

顧問医面談の概要

- ・ 通院状況、治療状況、検査値を個別確認し、面談の必要性を判断
- ・ 疾病リスクおよび通院・検査・服薬の重要性を説明
- ・ 健康状況に応じたきめ細かくアドバイスして、適切な受診を勧奨
- ・ 受診報告書を事業主に提出するよう指示

3. モニタリングおよびフォローアップ

事業主および当組合が連携して対象者の受診状況をモニタリングし、未受診の場合にはフォローアップを実施

事業主 受診結果の報告を義務付け、未受診の場合には上長からフォローアップ

当組合 レセプトから通院状況を確認し、未受診の場合には医療職からフォローアップ

実施状況

	性別	年齢層	H25年度判定		介入	H26年度判定	H27年1月受診状況
			判定	受診状況			
1	男性	50-54	ブラック	未受診	顧問医面談(H26.8)	ブラック	受診中
2	男性	50-54	ブラック	未受診	顧問医面談(H26.8)	イエロー	受診完了
3	男性	50-54	ブラック	受診中	顧問医面談(H26.8)	ブラック	受診中
4	男性	40-44	ブラック	受診中	顧問医面談(H26.8)	イエロー	受診完了
5	男性	50-54	ブラック	受診中	疾病状況確認	ブラック	受診中
6	男性	55-59	ブラック	受診中	疾病状況確認	レッド	受診中
7	男性	50-54	ブラック	受診中	疾病状況確認	ブラック	受診中
8	男性	60-64	ブラック	受診中	疾病状況確認	ブラック	受診中
9	男性	65-69	ブラック	受診中	疾病状況確認	ブラック	受診中
10	男性	40-44	ブラック	受診中	保健師面談(H25.11)	レッド	受診中
11	男性	45-49	ブラック	受診中	保健師面談(H25.11)	レッド	受診中
12	男性	45-49	ブラック	受診中	保健師面談(H25.11)	レッド	受診中
13	女性	45-49	ブラック	受診中	保健師面談(H25.11)	レッド	受診中
14	男性	45-49	ブラック	受診中	保健師面談(H25.11)	レッド	受診中
15	男性	45-49	ブラック	受診中	保健師面談(H25.11)	レッド	受診中
16	男性	60-64	ブラック	受診中	保健師面談(H25.11)	レッド	受診中

* 判定におけるレッドは要医療、イエローは境界域を表します

事業の効果

- ・ 事業主と連携してブラックゾーン対策を行う体制構築
- ・ 顧問医による面談実施からフォローアップまで事業主と連携した効果的なフローを確立
- ・ 対象者のうち突然死または突然倒れた人はいなかった
- ・ すべての対象者が受診中(継続通院中)となった
- ・ 対象者の62.5%(16名のうち10名)がブラックゾーンを脱出した
- ・ 一部のマネージャーが部下の健康状況を気遣うなどの変化が表れており、健康風土醸成が始まっている

* 心筋梗塞発症確率: Japan Arteriosclerosis Longitudinal Study(JALS)の急性心筋梗塞リスクスコアにより算出
脳卒中発症確率: Japan Public Health Center (JPHC) Studyの脳卒中リスクスコアより算出